

はじめに



安城市では、平成16年度に第1次地域福祉計画を策定し、市民のみなさまや、社会福祉協議会と力を合わせ、地域福祉を推進してまいりました。

このたび、第1次計画が期間満了となることに伴い、引き続き地域福祉を推進するため、第2次計画を策定いたしました。

現在、市内に70余の町内福祉委員会が設立され、地域における見守り活動や災害時への対応の準備など活発な活動が展開されています。

しかしながら、地域においては、ひとり暮らし高齢者の増加や核家族化などに伴い、介護、子育て、防災、防犯などに、まだまだ課題を残しているのも事実です。こうした課題の中には、行政だけが頑張っても、地域だけが頑張っても、解決するのが難しいものがたくさんあります。

課題を解決し、「誰もが住みなれた地域で安心して暮らしたい」という願いを実現するためには、個人や団体、ボランティアや事業者を問わず、地域に住む全ての方が地域づくりの主役として積極的に活動することが大切です。

この計画の基本理念である「大きく広がれ福祉の輪 みんなで支える地域の輪」にありますように、一人ひとりの力は小さくとも、みんなで力を合わせるにより大きな力になります。この力に市や社会福祉協議会の力を加え、共に地域福祉を推進することが、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながると考えています。そして、その積極的な推進を地域のみなさまにもお願いするものです。

結びに、計画の策定にあたりまして、策定協議会、地域会議及び関係団体会議の委員のみなさまをはじめ、貴重なご意見をいただきました市民のみなさま、各団体、機関、福祉事業者の方々に、心よりお礼申し上げます。

平成21年3月

安城市長

神谷学